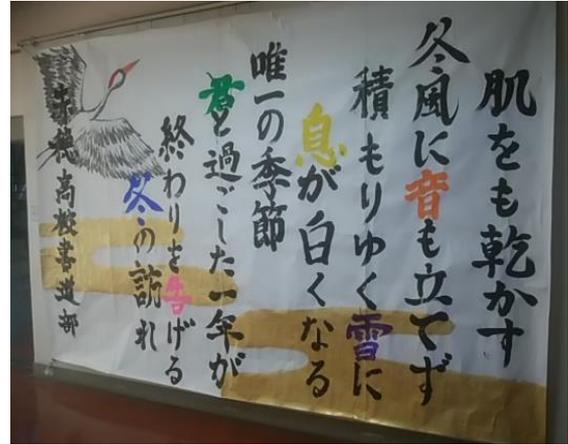




赤穂生の風景(校長ブログ)

新年あけましておめでとうございます



R5.1.6 3学期始業式

- 皆さん、あけましておめでとうございます。
- 今年の年末年始は、上伊那、伊南地区では比較的穏やかな天候に恵まれました。
- 自分自身の振り返り、家族との時間、それぞれの年越しをされたと思います。
- とりわけ、かけがえのない方たちとの時間は何にも増して代えがたい時間だったと思います。
- 私はここ2年、地元の神社の氏子の役があり、神社で年越しを迎えています。
- 午後11時から神殿で除夜祭、新年午前1時から元旦祭で、神官さんのお祓いを受け、無事新年を迎えることができました。
- コロナ前ほどではないようでしたが、それでも鳥居から神殿に列ができるほど多くの方たちが2年詣りに訪れました。
- 皆さんは、新年にあたり何を願い、何を目標に立てたでしょうか。
- さて、新年の地元新聞では、国際化を意識した記事が多く掲載されていました。
- その中で、私が印象に残ったのは、保育士でもあり、国際的なライター、コラムニスト、作家としても活躍している、ブレイディみかこさんと、京都大学准教授の藤原辰史(ふじはら たつし)さんの新春対談記事でした。
- イギリスに在住しているブレイディみかこさんは、イギリスでも昨年ほど食の貧困(フードポバティ)という言葉聞いた年はなかったそうです。
- 農業の歴史や食の思想について研究している歴史学者の藤原辰史(ふじはら たつし)さんは、対談の冒頭で、吉野源三郎(よしの げんざぶろう)さんの名著「君たちはどう生きるか」の一節に触れています。
- 藤原さんは、「君たちはどう生きるか」の中での、フードチェーン(食品供給の流れ)について主人公のコペル君が考える場面について挙げ、

- 日本に粉ミルクが届くまでには、オーストラリアで乳しぼりをしている人やそれを工場に届ける人、船に積んで日本に運ぶ人たちがいる。「君たちはどう生きるか」の中で述べられているそのチェーンが、現代社会で考えたとき、コロナ禍やウクライナの戦争などで切れてしまって、イギリスでは特に貧しい人たちが食べられなくなる事態に陥ったと説明しています。
- 円高、円安、の状況をはじめ、10ヶ月以上続くウクライナ戦争、世界的なパンデミックは国ごとの差異はあるにしてもまだ終息しないコロナ禍など、食という我々にとって最も重要で基本的な分野をはじめ、今や国際的な視野なくしては安穏と生活していくことはできない時代であることを改めて痛感した対談記事でした。
- では、我々は、どう行動していったらいいのか。
- その方法として、ブレイディみかさんは「半径5メートルからの変革」を挙げています。つまり、自分の足元、身近なところから何かをはじめていくということです。
- また、藤原さんは、今の時代はある意味、生存の危機の時代、そういう時こそ当事者意識を持つチャンスと述べています。
- そして、安心ということについて、「トップダウンではなく、ボトムアップでこそ安心は持続的でありうる」と著書の中で述べておられるそうです。
- イギリス在住のブレイディみかさんも、危機の時には必ず誰かが立ち上がって、助け合いを始める。そういうボトムアップの力が、イギリスの人たちにはあるような気がする、と対談の中で述べています。
- 対談の終わりは、この対談の中で出てきた食べることや、お互いに助け合うこと、など、本来なら就学前に教わることばかり、そういった基本的なことに私たちは気付く必要がある、締めくくられています。
- 生きていく上での基本的な部分を、私たちは改めて考えていく時代を迎えているのだと教えられた思いでした。
- この対談の中に、これからの社会のためのいくつかキーワードとなるものがあると思います。
- 国際化社会であることはもちろんですが、足元を見つめる、身近な半径5メートルからの変革、当事者意識、安心の持続性、ボトムアップ、等等です。
- 2023年のスタートに当たり、これらのキーワードが、判断に迷ったときや、これからの進路を考える時、また総合的な探究の時間等でのヒントとなれば幸いです。

- 日本の旧暦では、1年間を4つの季節に分け、さらにそれぞれ6分割した24節気がカレンダーにも記載されています。
- 今日は小寒（しょうかん）、1年で最も寒いとされる大寒（だいかん）は1月20日、長野県でも最も寒さが厳しい時期を迎えます。
- 立春は2月4日、雪が雨に変化し、雪解けが始まるといわれる雨水（うすい）は2月19日、このころまではまだまだ寒さ厳しい時期ですが、冬の厳しさも成長に必要な時期ととらえて今できること、先ほどお伝えした、足元を見つめ、半径5メートルからの変革、当事者意識を持って取り組んでいきましょう。
- 1月14日、15日には、大学入学共通テストを迎えます。
- 3年生進学希望者の皆さんの今までの学びの成果が十二分に発揮されることを心よりお祈りいたします。
1、2年生も、出題された問題に取り組んでいくと意識が高まります。挑戦してみてください。
- 令和5年が皆さんにとって、新たな行動変容の1年になるように、そして新たな出会いの1年になるように祈念して、3学期始業式の挨拶とします。